

自然観察 NOW

No. 80

野幌森林公園 自然情報

発行：2024年8月4日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <https://voluran.com/>



札幌周辺のタンポポについて

1 セイヨウタンポポとエゾタンポポ

札幌市街地で見られるタンポポは圧倒的に帰化種のセイヨウタンポポで、在来種のエゾタンポポは、自然が豊かに残っている森などでしか見られない。

両者の形の上での違いのポイントは総苞で、セイヨウタンポポの場合は反り返るがエゾタンポポの場合は反りかえない。⇒

両者の生き方の違い、セイヨウタンポポは無性生殖をおこない、種づくりにおいて昆虫の媒介を必要としない。なので同じ性質をもって全国各地に進出している。在来タンポポは有性生殖の種づくりをして、全国各地それぞれの地域に合った形に変化していく。

北海道では「エゾタンポポ」、本州では「カントウタンポポ」、「カンサイタンポポ」、「トウカイタンポポ」など。

「タンポポの花は黄色」が北海道での常識だが、関西にはシロバナタンポポがあって、「タンポポの花は白色」が常識と考える人が少なくないという。



2 タンポポの生活環

多年性植物の、誕生から死までの様子を見るのを「生活史」といい、生活史の一部、1年間の動きを見るのを「生活環」という。前年秋までに用意されたロゼット葉で越冬し、翌春にはロゼット葉の中心部から花茎（葉をつけない）を立ち上げ先端部に1花をつける。



ロゼット葉



花茎立ち上げ



開 花



閉 花



花後、花茎倒れる



花(果)茎立ち上げ



果実(綿毛)



綿毛と種子

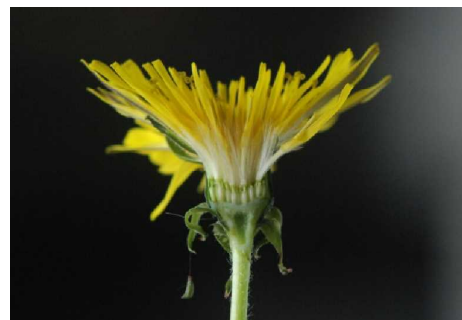
タンポポの生活環：ロゼット葉で越冬したタンポポ、翌春に中心部から花茎を立ち上げ開花する。タンポポの花は開花したら開きっぱなし、と考える人も多いが、実際には、朝開花して夕方には閉花をする。つまり花の開閉を繰り返す。この閉花の写真は多少中途半端で、夜にはもっときちっと花を閉じる。花後（受粉後）は一度花茎は倒れる。その理由は「受粉した花から果実（瘦果）が熟すまでの間、それを守るため」と言われる。一度倒れた花茎も果実が熟すのを待つ形で再度立ち上がるが、花茎の高さは花時より高くなる。できた種子を風に乗せて飛ばすには少しでも高い方が有利だからである。タンポポなど風散布のための毛を「冠毛」と呼ぶ。タンポポの場合、冠毛と種子とをつなぐ棒状のものがあって「果嘴（かし）」と呼び、単に「くちばし」ともいう。

3 タンポポの花の構造

タンポポの花の断面

2の所で「花茎に1花」と説明したが、実際には小さな花が沢山集まって「1花」に見せている。

縦長の花序軸に多数の小花をつけるのは「穂状花序」「尾状花序」「総状花序」などと呼ばれるが、キク科のように横拡がりの花序軸に多数の小花をつけるのを「頭状花序（とうじょうかじょ）」と言い、単に「頭花（とうか）」とも呼ばれる。



タンポポの花の断面

タンポポの小花

一番下に白くて若干緑がかった子房があり、少し上に冠毛となるべき毛が用意されている。子房につながる雌しべは先が2裂して波状、雄しべは雌しべの花柱の周りを包んでいて花粉をだす。花弁の先は僅かに5裂になっていて5弁の花の合着した姿と言われる。

子房の上部は細くなって若干緑色を帯びている。この部分は「子房柄」と呼ばれ、後に冠毛と種子をつなぐ「果嘴（かし）」になるという。



タンポポの小花

4 タンポポの果実と種子

タンポポの果実は瘦果、三角錐の形でその先に線状の果嘴をつけ更にその先に冠毛をつけ、風散布となる。風散布には、回転することで落下スピードをおとす「ヘリコプター型」、種子に翼をつけて滑空する「グライダー型」があり、タンポポは冠毛に風を受けて飛んでいく「パラシュート型」と呼ばれる。最も進化した科と言われるキク科にパラシュート型が多いのは、風散布の形として最も効率的であるからとも考えられる。



タンポポの果実と種子

5 冠毛のタイプ



セイヨウタンポポ



ブタナ



ノゲシ



アメリカオニアザミ

果嘴を持つタイプ

果嘴を持つ点では共通だが冠毛の性質が異なる。

セイヨウタンポポ：単毛、枝分かれしない。

ブタナ：羽毛状、枝分かれしている。

果嘴を持たないタイプ

果嘴を持たない点は共通だが冠毛の性質が異なる。

ノゲシ：単毛、枝分かれしない。

アメリカオニアザミ：羽毛状、枝分かれしている。

文責：原田 和彦

- ◆今後の観察会の予定 自然ふれあい交流館とボラレンの共催～要：事前申込み Tel 011-386-5832
9月7日(土)9:50-12:00 秋の花でにぎわう森を歩こう 野幌森林公園、自然ふれあい交流館集合
10月3日(木)9:50-12:00 秋の森の観察会 野幌森林公園、自然ふれあい交流館集合